

□ 3月3日は「耳の日」です。

耳の日が始まったのは1956(昭和31)年。

耳や聴力について多くの人の関心を集めること、そして難聴と言語障害をもつ人びとの悩みを少しでも解決することを目的として、日本耳鼻咽喉科頭頸部外科学会の提案により制定されました。

□ 耳の日はなぜ「3月3日」?

「ミミ」という語呂合わせや「3」が耳の形と似ていることから3月3日が選ばれた理由としてよく知られていますが、実はもう一つ理由があります。

それは電話を発明したグラハム・ベルの誕生日だということ。

ベルはろう教育学者としても功績を残っていて、

ヘレン・ケラーとアニー・サリバンを引く合わせた人物でもあるのです。

ご存知でしたか?

**耳の異常信号**  
あなたは大丈夫?

自分の声が途切れたり、ひびくような声に聞こえる

「キーン」「シューン」などの音が常に鳴っている

テレビなどの音を大きくしないと聞こえない

耳の病気が発覚が遅いほど重大な病気になってしまうことも! 「おかしいかな?」と思ったら、早めに耳鼻科で診察を!

会話を開き直すことが多い

時々ふさがっている感じがする

高い音や低い音だけが聞きにくい

○ 3月3日前後には日本耳鼻咽喉科頭頸部外科会主催の耳鼻咽喉科専門医による無料相談会が各地で開催されています。

気になる人は是非調べてみてください。

引用献文  
日本耳鼻咽喉科頭頸部外科学会

スクールカウンセラーより

「自立と依存」

自立は良いことで依存することは悪いことだと思っていませんか。人が精神的に健康に生きていくためには、自立も依存もどちらも必要です。ほどよくバランスがとれることが大切なのです。困った時に「助けて」と人に頼れることが大事ですね。自分を守ることもなります。

3月の相談日は2日(水)です。 予約方法 向井境子先生まで申し出てください。

